

一 千 萬 圓 の
工 費 に なる
鶴 見 操 車 場 新 設 工 事

① 工事箇處名稱 品鶴間貨物線増設工事（鶴見操車場新設工事）

② 工事（又は設計）の特長 從來東京附近に於ける貨物操車に對しては東北は田端東海道口は品川に於てせしも輸送量の増加に伴ひ漸次狹隘を感じ結局東北方面は大宮田端間に一日 4000 輛の操車場を造り田端と併用し東海道方面に對しては本操車場を宛て昭和15年度頃迄の増加に對抗し獨逸フレイツヒ式カーレターダを設置し一日 5,000 輛を操車し得る様南北に3m20c 東西約 15c 總面積 25 萬坪線路延長56m 工事費 1 千萬圓の大規模操車場を設く

③ 工事設備 全工區を一工區二工區に分け詰所を二個所に置き別に土取場及鹿島田に見張所を設け又土工工事に對し特に土工線を敷設し蒸氣及ガソリン機關車を使用するが如く専ら機械力を利用すべく設備せり

④ 工事現状 請負施行中の土工工事は目下八分通りの進歩を見たるに依り桁架設工事機關車庫設備工事及線路敷設工事等の準備中なり

⑤ 工事設計者、監督主任者 鐵道省東京第二改良事務所

操車場一工區 …… 當初 佐藤技師 …… 伊藤技手
 現在 鈴木技師

操車場二工區 …… 當初 佐藤技師 …… 濱地技手
 現在 鈴木技師

⑥ 工事請負者又は現場施工主任者 操車場二工區…
 …… 鹿島精一 …… 加藤澤吉 操車場一工區 …… 大倉土木株式會社專務取締役機山信毅 …… 藤 澤昇

⑦ 竣工豫定 操車場一工區 …… 昭和3年7月—11日
 操車場二工區 …… 昭和3年7月—12日

⑧ 視察道順 鶴見驛下車、土工線に沿ひ小倉及び鹿島田に出張所あり

⑨ 附近名勝 桃、梨の花

工費一千万圓の鶴見操車場工事中

The Tsurumi car composing compound of the I. G. R. Dep't.

